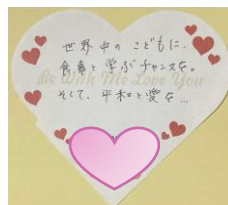


## PTA ユニセフ募金 ¥22,550.- ガザ緊急支援に送金しました

飛翔祭の 9/26, 27 両日で上記金額が集まり、送金しました。支援の気持ちを行動で示してくれた皆さん、本当にありがとうございました。¥1,000 で 68 回分のポリオワクチンになります。素敵なピースメッセージを書いてくださった保護者、生徒

の皆さんに感謝です！一部を紹介します。



すべての子どもに  
幸福と自由を！

振替払込請求書兼受領証	
日付 001905	金額 31000
振替 31000	金額 ¥22550
振替 上田市立第六中学 校PTA	振替 上田市立第六中学 校PTA
振替 06-10-02 T501000111 2730 ユニセフ (11003) N94150004	振替 06-10-02 T501000111 2730 ユニセフ (11003) N94150004

## PTA 連合会研究集会に参加しました 10/5 中野先生、渡辺副会長、3 学年会長の小林さんと

毎年、小中学校の担当校が PTA 活動について発表します。今年の会場は依田窪南部中学校でした。

講演会では、国立信州高遠少年自然の家が行っている取り組みが紹介され、学校や家庭以外の社会教育をとおして、子供たちの成長につながることを深く知ることができました。

分科会では、地域とPTAの連携と題し、上田市立豊殿小学校の取り組みを拝聴、地元自治会や消防団、PTA、そして子供たちが関わることで、コミュニケーションができ、地域とのつながりが作れる良い事例でした。

機会があれば、ぜひ皆さんも参加してみませんか？ （渡辺副会長感想）



講演会

↑ キャンプに行きたくなりました！（へへ）



分科会の様子

開会式で、六中のユニセフ募金の活動を2分間で紹介。どの学校もPTA活動は縮小の動きですが「PTAは大人の部活動」というワードに共感も。



募金の様子

## ふるさとタイムお疲れさました！ 子どもの発表に、はっとさせられ… 10/17

3 年生女子のまとめ「お母さんの大変さが分かりました」の一言で、ふいに涙が出てしまいました。発表した生徒のお母さんは、「やだ、こっちがもらい泣きしちゃう～」と笑っていましたが（笑）。

その発表は、「SDGsは地球規模の問題の解決策を考えるけれど、たとえばジェンダーの格差をどうにかしたいと思えば、家事労働の偏りを改善するために、まずは自分の家の中で母の負担を減らすことがその第一歩。家族が喜んでくれたのが嬉しかった」という柔らかな感性で締めくくられているものでした。私は、彼女の一生懸命さにホロリ。

「子どもたちは、色々なことを一生懸命考えている。今、成長の途中だけれど、だからこそ子どもたちは、**今できる最大限で生きている**。彼らもこの社会の大切な一員なのだから、大人はもっともっと、子どもたちの意見に耳を傾けるべきでは…？」そんな思いを強くしました。皆さんは、どんな感想をお持ちになったでしょうか？

## 「第 2 通学区の高校入試制度に関わる要請」署名提出 10/21

“保護者（3 学年 PTA 会長）と教職員（組合の先生、進路指導の先生たち）の会”のみなさんと長野県庁へ

9 月中旬にメ切的「希望の春を!!」と書かれた水色の署名は、六中では 843 筆 集まり、上小地域全体では、昨年度の 1.5 倍の 14,252 筆を、県教育委員会に提出しました。今年度から入試制度が大きく変わるので、関心の高さを示すことができました。保護者と先生方合わせて 13 人が具体的に要望を伝えました。菅平・真田中の保護者からは、「通学に

かかるバスの定期代はかなりの高額になる」、「入学しなくても支払う併願私立高校への入学金は保険としては高すぎる。子どもが受験することを遠慮しかねない」、「何万円もする高価なタブレット端末が、高校からは個人購入で負担が大きい」と、通学費用や学費に関する意見が出されたり、「公立高校の中にはトイレが 30 年間改修されていない。酷暑に対応し全教室へのエアコン整備は急務!」、「高校にもニーズに対応した様々な教育的配慮を」など、子どもたちの学ぶ環境の整備や、教育予算の大幅な増額を求める切実な意見が多く出されました。進路指導の先生の、「公立の前期選抜に新たに導入される学力検査の例題をもっと示してもらえないか?」の質問に対して、教育委員会は「教科書の例題程度の問題なので、繰り返し解いて基本をマスターしておいてください」との回答のみ。それに対し、「HP への掲載で今年受験生や保護者が見て安心できる対応を急いでほしい」と、みんなの気持ちを組合の先生が最後にまとめて代弁してくれました。



県民ホールで打ち合わせ



みんなの声 14,252 筆の署名を提出!

## 中学校を舞台にたとえると…

主役は生徒、先生方は脇を固める脚本家+裏方。では保護者は…? プロデューサー×マネージャー?

この 9、10 月、子どもたちは毎日の部活・授業だけでなく、ミニ運動会・飛翔祭・テスト・ふるさとタイムと 主役をやりきってきました。その陰にはいつも先生方のご苦勞があります。家族との時間や睡眠時間を削って主役を支え続けてくれています。さあ、あとは私たち保護者の出番です! 教育予算のスポンサーである国・県・自治体に働きかけ、子どもたちの次なる大舞台=高校の環境を整えたり、「先生方の負担を減らしてほしい! 子どもたちと関わる時間を増やすために大幅増員を!」と、声を上げる番ではないでしょうか? 子どもと先生方を支える”本気”をぜひ、署名の数で示してください!(^o^)

2 学期に取り組み始めた「県民教育署名」は 9 月のメ切で、六中は 774 筆が集まりました。すでに提出してくれた保護者の皆さん、本当にありがとうございました。署名は力です。私が大学生の時のことです。真冬の 1 限目、みんなの息が白くなる極寒の教室で我慢して講義を受けていましたが、ある日署名してみたら、教授も含め目標の 100 筆があっという間に集まり、教務係に提出すると、大学側もすぐに改善してくれたので、その冬から私たちは暖かい教室で勉強ができるようになりました。めでたしめでたし(^o^)♥署名は力です。「県民教育署名 第2弾」では、はじめから 1 家庭 2 枚を配布します。

”まだできるよ!”という方は、ぜひ3枚以上取り組んで下さい。まずは、ご自身で1筆、そしてご近所さん、ご親戚、同僚やご友人に「子どものための教育予算を増やしてほしいという署名なんだけど…」とお願いしてみてください。反対する人はそうはいません。何筆集められるか、六中 PTA の力を試してみませんか?

## 県民教育署名 第2弾取り組みます!

メ切: 11 月 13 日(水) 場所: 六中生徒昇降口(回収箱)

目標: 5,000 筆 500 (家庭数+職員数) × 10 筆(2 枚)

★キリトリ線でカット。★前回の封筒がある人はそれに入れて出す。★ない人は古封筒で。

★署名欄の左: 県へ、右: 国へ出すので 両方に同じ名前を書く。県外の人でも OK。

★新しい用紙は回収箱の横にあります。ご自由にお持ち下さい。自分でコピーしても OK。

★問い合わせ先★ PTA 会長 沓掛 090-9829-2053